

令和8年度 第3回鉱業博物館開放講座

菅江真澄シリーズ 第9回講演

「菅江真澄と阿仁」



菅江真澄肖像画(能代市・杉本家蔵)

江戸時代後期、三河国から旅に出た菅江真澄は、天明5年(1785)に阿仁鉱山を訪れた。その後、みちのく、北海道をめぐり、享和2年(1802)に再訪し、森吉山に登った。文化元年(1804)、文化2年と連続して阿仁を探訪し、森吉山の登頂を果たした。森と鉱山の郷である阿仁は、真澄にとって魅力的で、日記に見聞録を記し、風景を描いた。

講師:小笹鉄文 氏 (菅江真澄研究会 会長)
金児紘征 氏 (菅江真澄研究会 副会長)

日時:令和8年9月6日(日) 13:30-15:00

会場:秋田大学大学院国際資源学研究科 附属鉱業博物館 講堂

〒010-8502 秋田市手形字大沢28-2 電話 018-889-2461

(聴講無料 事前申込不要)